

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '社会体験事業助成事業' and '学校教育の充実'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Includes a description of the social experience program for middle school students.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 5 columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥指標. Includes data for '職場体験の実施校', '中学校の第2学年生徒', and '自立心や模範意識が高まった生徒数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 28, 29, and 30 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 事業費計(A), 人件費, and トータルコスト(A)+(B).

Table showing internal costs (事業費の内訳) for 29 and 30 fiscal years. Includes 11 需用費 and 12 役務費.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content (実施内容) for 30, 31, and 32 fiscal years. Includes a note about recording content by fiscal year and a list of main activities.

事務事業名	社会体験事業助成事業	事務事業No.	20101000155	所属課	学校教育課
-------	------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成12年度から14年度までの3年間、合併前の岩瀬町・真壁町・大和村において県の補助事業を取り入れて実施した。平成15年度から17年度は岩瀬町・大和村で、町村の単独補助事業により継続して実施してきた。町村合併後の平成18年度からは市立の全中学校で実施している。当初の3年間は、県の補助事業により実施。その後は市の単独補助事業として実施してきたが平成20年度からは補助事業でなく予算令達により実施。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

各学校の実施機関が集中するため受け入れてくれる事業所の確保が年々困難になってきている。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	地域の協力を得て、職場体験活動を行うことにより、地域の人々との関わりや社会ルールを学び、生徒一人一人が、主体的に生きていくことができる資質や能力を育成することは、学校教育の充実につながります。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	生徒一人一人に、勤労の尊さや、働くことの喜びを実体験させ、生きる力の資質や能力を身に付けさせるのは市の責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	各中学校からの報告で、生徒たちが自主的に活動し、働くことの大切さや大変さを学ぶことができている、本事業の目的をほぼ達成している。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	事業の廃止休止は、生徒一人一人が勤労の尊さや働くことの喜びを実体験し、生きる力の資質や能力を養うことができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	特に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	事業費の支出内訳は、事業主の協力依頼や礼状にかかる通信費、体験活動発表会時の印刷費・消耗品費等で最小限の支出なので削減の余地はない。人件費においても、学校予算執行に係る必要最小限の指導事務で削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	全中学校の第2学年生徒を対象としているので公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	各学校の実施機関が集中するため受け入れてくれる事業所の確保が年々困難になってきている。

(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる

(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○																					
	低下																							

(6) 事務事業優先度評価結果	
成果優先度評価結果	-
コスト削減優先度評価結果	-

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認